

第1学年 国語科 学習構想案

日 時 令和7年10月16日（木）第2校時
場 所 人吉市立第二中学校 1年1組教室
指導者 教諭 吉田 淳

1 単元構想

単元名	心の動き「星の花が降るころに」（光村図書「国語 1」 P.106～115）		
単元の目標	(1) [知識及び技能] 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(2)イ (2) [思考力、判断力、表現力等] 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。(1)ウ (3) [学びに向かう力、人間性等] 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ	① 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(1)ウ	① 粘り強く場面と場面、場面と描写を結び付けて解釈し、学習の見通しをもって、作品の魅力についてお互いの意見を伝え合おうとしている。
単元終了時の子供の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
比較や分類、関係づけなどの情報の整理をしながら、場面と場面、場面と描写を結び付けて読み、それらをもとに内容を解釈し、作品の魅力を伝えることができる子供			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
自分が見つけた作品の魅力を、クラスの人々と伝え合おう。		作品の魅力を伝え合うために、場面の展開や描写に着目し、文章の内容を解釈することを通して、言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画（7時間取扱い 本時5／7）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○ 単元を通した学習課題を確認する。全文を通読し、初読の感想を書く。	【態①】（共有アプリ）
二	4	○ 「星の花が降るころに」を魅力的にしているもの・こと・場面を選び、その魅力について教科書を読んで考え、ワークシートにまとめる。 ○ 教科書を読んでいく中で、どんな魅力が見つかったのかを共有する。 ○ 「作者の仕掛け」について取り上げ、2つの「わけがわからない」について考える。 <u>○ 「星の花が降るころに」にはどんな作者の仕掛けがあるかを考える。【本時】</u>	★【思①】（ワークシート・共有アプリ） ○ 魅力について調べる中で、場面や描写に着目し、自分なりに意味を見いだしている。 【態①】（活動の様子・共有アプリ） 【知①】（共有アプリ） ★【知①】（ワークシート） ○ 文章から読み取った情報を比較し、図を用いてわかりやすくまとめている。 ★【思①】（共有アプリ・発言） ○ 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。
三	2	○ 自分が思う作品の魅力を書く。 ○ 作品の魅力を伝え合う。	★【思①】（発言・ワークシート） ○ 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 ★【態①】（発言・ワークシート） ○ これまでの学習をもとに作品の魅力についてお互いの意見を伝え合おうとしている。

2 単元における系統及び子供の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)		
<p>中学校学習指導要領第1学年</p> <p>〔知識及び技能〕</p> <p>情報の扱い方に関する事項(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方 や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>C読むこと(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写な どを結び付けたりして、内容を解釈すること。</p>		
教材・題材の価値		
<p>本教材は中学生特有の心情を描いた作品である。読者と同じ中学生である「私」が、親友の「夏実」と疎遠になってしまう。失望する「私」は、明るい「戸部君」とのやりとりで心が和む。その後、公園にいた「おばさん」から銀木屋についての話を聞き、自分の生き方について考える。</p> <p>本教材は作者が教科書のために書きおろしたものである。中学生の読者を対象に書かれているので、言葉は平易で、表現も今日的なものを含んでいる。また、巧みな比喩が使われた描写が多く、これにより読者は情景を豊かに想像することができるだろう。さらに、心情描写においても文学的に優れた表現が多く、主人公の心情をリアルに想像し、同じ気持ちになって読むことができるだろう。</p> <p>本教材には銀木屋が冒頭、中間、結末と度々登場する。このようなモチーフを軸にして場面や描写を比較すると、登場人物の言動や心情の変化が鮮明に浮かび上がる。場面と場面、場面と描写を結び付けることによって新たな意味を見いだす(解釈する)ことや、「星の花が降るころに」というタイトルに込められた意味について考えを出し合うことで、思考を深めていくことができるだろう。</p> <p>本教材の読み取りを通して、作品の魅力とはストーリーだけでなく、描写の素晴らしさ、作者の意図などがあると生徒が気づき、今後の読書への意欲にもつながると考えられる。</p>		
本単元における系統		
子供の実態(単元の目標につながる学びの実態)		
<p>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況</p> <p>令和7年度 人吉市学力調査より (生徒数30人、単位：%)</p>		
「読むこと(文学的文章)」に係る内容	学級正答率	全国正答率
1年1組 国語全体のクラス平均正答率	70.1	64.5
「読むこと」の正答率	64.4	62.5
文学作品の内容を読み取る問題に関する正答率	62.2	63.2
(問16) 登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	70.0	72.2
(問17) 様々な表現が読み手に与える効果について考えている。	76.7	71.2
(問18) 文章を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。	40.0	46.3

■本単元の研究の視点に関する意識の状況

(生徒数30人、単位：%)

「学び」に係る調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
「なぜ」「どうして」という「問い」をもちながら学習しているか。	40	50	10	0
自分の考えを主体的に友だちや先生に伝えているか。	33	50	17	0
課題を解決するために、友だちと話し合っているか。	57	40	3	0
友だちの意見をもとに自分の考えを見直しているか。	52	41	7	0

■考察

(資質・能力に関して)

人吉市学力調査の結果から、国語全体の正答率は全国平均を5.6ポイント上回っているが、文学作品の内容を読み取る問題に関する正答率は、全国平均を1.0ポイント下回っている。このことから、文学作品の読み取りに課題があることがわかる。特に、感想を共有し、自分の考えを広げること

に課題があることがわかる。

(学びに関して)

国語の授業に関しては、意欲的に取り組む生徒が多い。発言が多く、明るい雰囲気の中で授業を進められる。一方で、メリハリをつけることには課題がある。アンケート結果にあるように90%の生徒が問いをもちながら学習に向かい、全体的に集中して取り組む雰囲気がある。文学的文章の内容の解釈(読み取り・理解)が苦手な生徒もいるため、話し合いや教え合いを多く取り入れ、みんなで課題解決に向かう姿勢を心掛ける必要がある。また、友だちに助けを求められず、学習活動を進められない生徒もいるため、座席を配慮し生徒同士で助け合えるようにする必要がある。

3 指導に当たっての留意点

視点1 主体的な学びを支え、学びの本質へとつながる子供の問いを生み出す導入の工夫

- 単元の導入として、前年度の1年生のアンケート結果を見せる。そのアンケートでは、印象に残った単元として「星の花が降るころに」をほとんどの生徒が挙げている。それをもとに「そんなに魅力ある作品なのかな。」「この作品の魅力はどこにあるのだろう。」と問いかけ、単元を貫く学習課題へと導く。
- 前単元の授業で、文学作品の魅力に「作者の仕掛け」があることを紹介する。前時で、それまでの生徒の学習から、「わけがわからない」という言葉が2回出てくるところを挙げ、どちらも同じ意味かを問いかける。その学習を本時の導入で振り返ることで、他の作者の仕掛けを自分たちで探そうという意欲を引き出す。

視点2 子供を深い学び・確かな学びへと導くゆさぶり発問や活動の設定

- 単元の5時間目(本時)の導入で、前時に「作者の仕掛け」について考えたことを振り返る。「他に作者の仕掛けはあったかな」と問いかけ、自分たちで作者の仕掛けを見つけられるようにする。それぞれが見つけた仕掛けに対して、「みんなが見つけた仕掛けには、何に対してどんな効果があるのかな」と問いかけることで、生徒たちを深い学びへと導く。

4 本時の学習

(1) 目標 作者の仕掛けとその効果について考える活動を通して、場面と場面、場面と描写を結び付けて内容を解釈することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◆発問、◇予想される子供の発言)	○指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>◆前回の授業で、「作者の仕掛け」について考えたよね。どうやって仕掛けを見つけたかな。</p> <p>◇場面と描写を結び付けた。</p> <p>◆他の仕掛けはもう無いよね。</p> <p>◇今まで考えた中で銀木犀が仕掛けだと思ったよ。</p> <p>◇仕掛けなんてあったかな。</p> <p>◇気になったところはあったけど、これはどうかな。</p>	<p>【視点1について】</p> <p>○前時で「作者の仕掛け」の1つについて学習したことを振り返り、生徒たちの問いを引き出す。</p> <p>○前時まで「作者の仕掛け」に気付いた生徒を挙げておき、その生徒の学習から問いを立てる。</p>
展開	35分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>(1) 他の仕掛けを探し、ペアで共有する。</p> <p>◆他にどんな作者の仕掛けがあるかな。</p> <p>◇銀木犀が最初や最後に出てきているよ。</p> <p>◇掃除のおばさんを登場させたのも仕掛けではないかな。</p> <p>◇たくさんの花の中から銀木犀を選んだのも仕掛けの1つだと思うな。</p>	<p>○まず個人で考え、その後ペアで意見を共有する。</p> <p>○根拠のない意見にならないようにするために、ペアと共有する際には教科書を根拠として相手に説明するように声を掛ける。</p>
		<p>ゆさぶり発問や活動</p> <p>◆前回学んだ作者の仕掛けは、読者に対して登場人物の心情の変化をわかりやすくする効果があったよね。みんなが見つけたその仕掛けには、何に対してどんな効果があるのかな。</p> <p>(2) 仕掛けの効果についてまとめ、考えを深める。</p> <p>◇最初は銀木犀に「閉じ込められた」と書いてあるけど、最後は「くぐって出た」と書いてある。読者に対して「私」の心情の変化をわかりやすくする効果があると思う。</p> <p>◇途中には「香りはなくなっている」「ばらばらと落とした」とも書いてあるよ。読者に「私」と「夏実」の関係のことを表す効果があるのかな。</p> <p>◇掃除のおばさんが登場したからこそ、「私」は気持ちを切り替えられたのではないかな。物語をより面白くさせる効果があると思う。</p> <p>◇銀木犀の花言葉は「初恋」らしいよ。読者に対して、これは恋の物語なのかと想像させる効果があるのかな。</p>	<p>【視点2について】</p> <p>○それぞれが見つけた仕掛けの効果を、根拠をもって説明することができるように共有アプリのワークシートに「作者の仕掛け」「どこからそう思ったのか」「仕掛けの効果」を書く欄を設ける。</p> <p>○共有アプリの提出箱を共有し、誰とでも話せる環境の中で効果について考えられるようにする。その後、それぞれが気づいた仕掛けを発表し全体で共有する。</p>
終末	10分	<p>3 振り返りをする。</p>	<p>○「に・ち・ゆ・う」の視点で振り返りをする。</p>

【前提：授業の終末に、つぶやいてほしい子供の言葉】

- ・場面と描写を結び付けると、人物の心情の変化がよく分かった。
- ・「作者の仕掛け」に気づくと、読書がより面白くなったと思った。他の物語でも仕掛けを探してみたい。

【板書計画】

星の花が降るころに 安東みきえ
めあて…場面と描写を結び付け、

「作者の仕かけ」を見つけよう。

◎作者の仕かけを見つけ、その効果と根拠をまとめよう。

(何に対して、どんな効果があるか。)

・銀木犀を繰り返し登場させる。

↓読者…「私」の心情がわかりやすくなる。

・ビニール袋の銀木犀の表現を繰り返す。

↓読者…「私」と「夏実」の関係性を表す。

・掃除のおばさんを登場させる。

↓物語…「私」が気持ちを切り替える後押し

となり、物語がより面白くなる。

・金木犀ではなく、銀木犀を選ぶ。

↓読者…恋の物語ではないかと予想させる。

〈まとめ〉

作者の仕掛けには、登場人物の心情をわかりやすくしたり、物語をより面白くしたりする効果がある。

【ICT活用計画】

- ・単元全体を通して、電子黒板を用いて資料を提示するなど、視覚的にわかりやすい授業をする。
- ・単元全体を通して、共有アプリを活用し、意見の共有や生徒の発表をスムーズにできるようにする。
- ・生徒自身が過去の学びを振り返ったり、わかりやすくまとめたりすることができるように、タブレットを活用する。